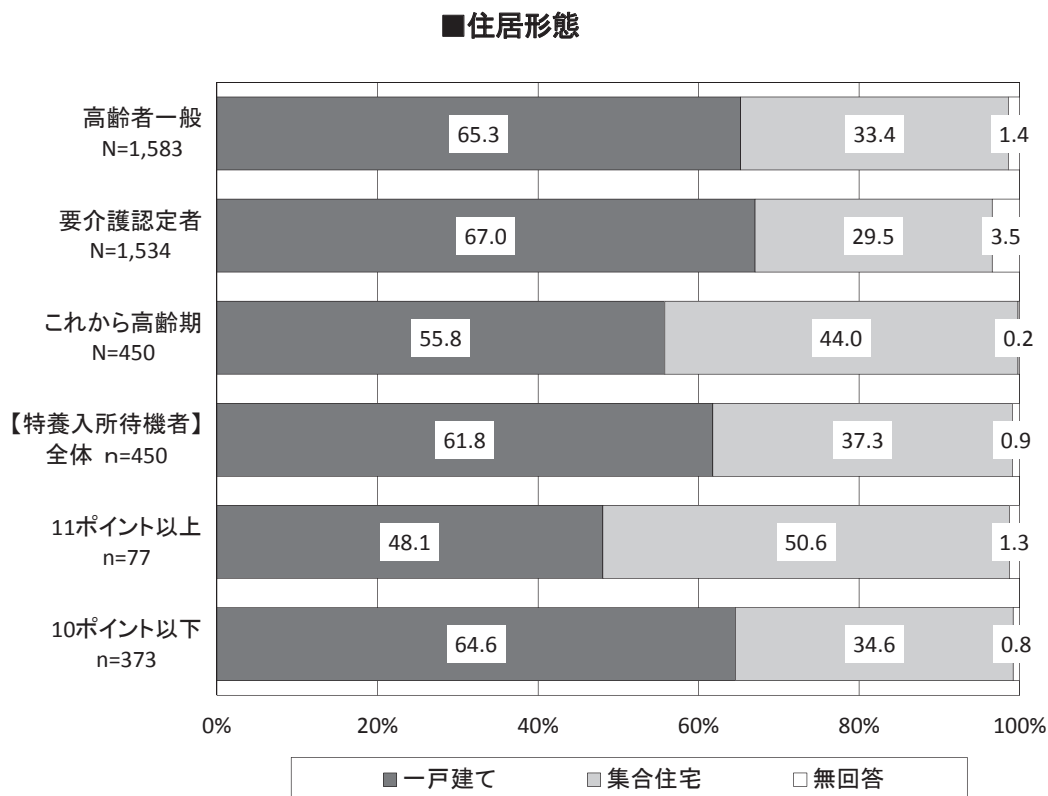


### 3 住まい

#### (1) 住居形態

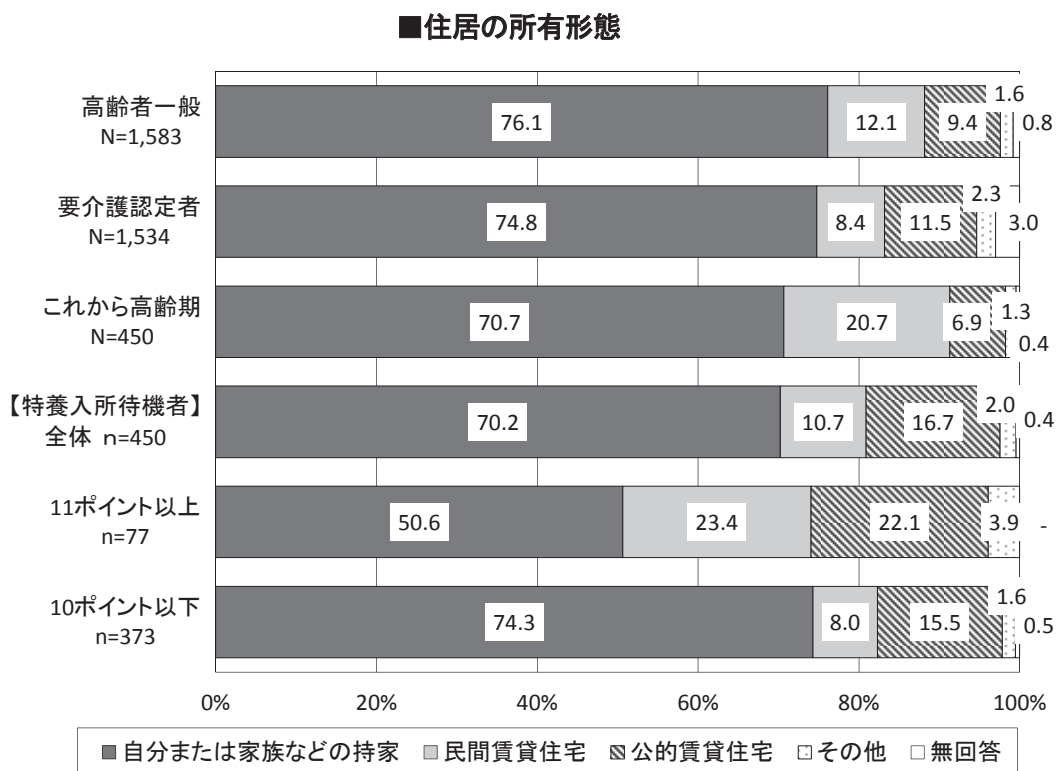
○いずれの調査においても「一戸建て」が多く、高齢者一般が65.3%、要介護認定者が67.0%、これから高齢期が55.8%、特養入所待機者が61.8%となっている。



※ 特養入所待機者は、現在の生活場所を尋ねる設問(81頁参照)で「自宅(家族などとの同居も含む)」と答えた人を対象に聞いた

## (2) 住居の所有形態

○いずれの調査においても「自分または家族などの持家」が多く、高齢者一般が76.1%、要介護認定者が74.8%、これから高齢期が70.7%、特養入所待機者が70.2%となっている。

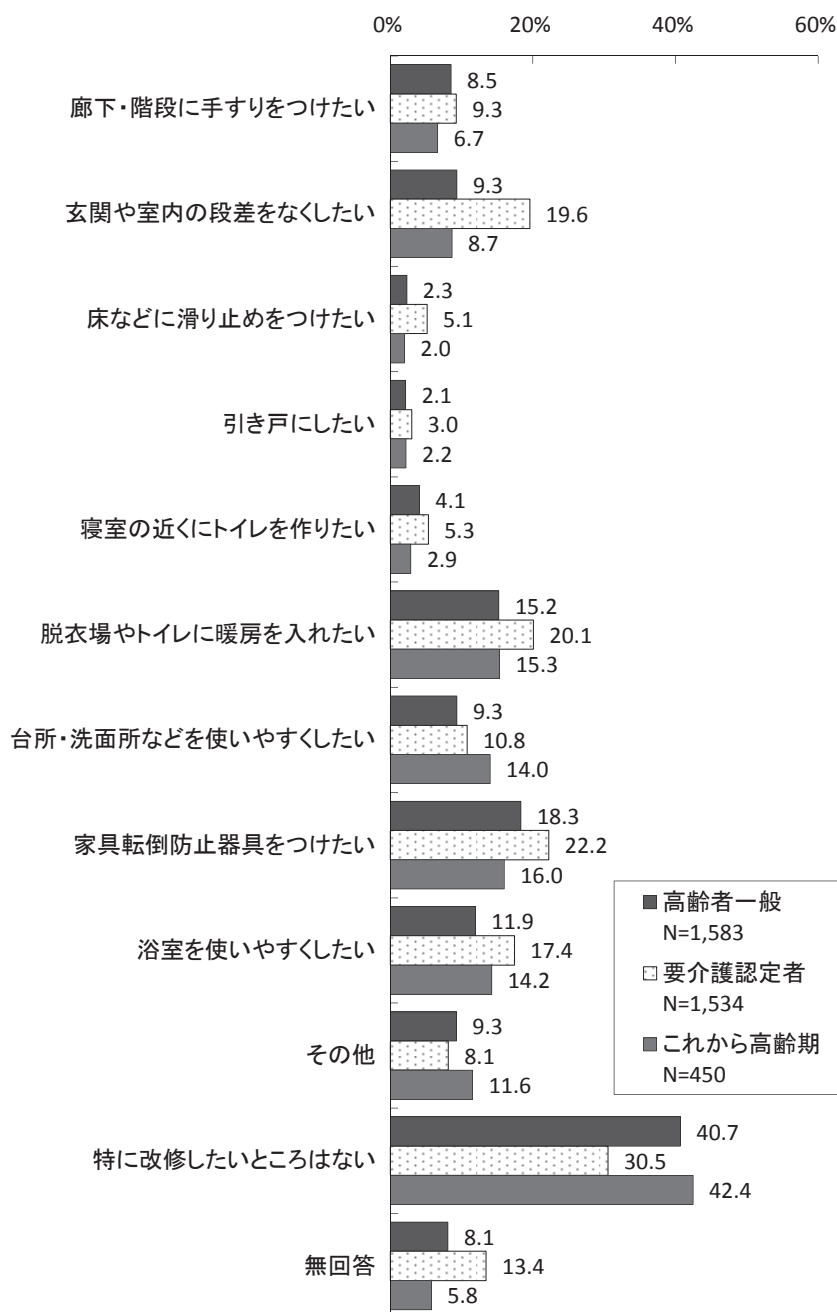


※ 特養入所待機者は、現在の生活場所を尋ねる設問（81頁参照）で「自宅（家族などとの同居も含む）」と答えた人を対象に聞いた

### (3) 住まいで改修したいところ

- いずれの調査においても「特に改修したいところはない」が3～4割を占めている。
- 改修したいところとしては、高齢者一般、これから高齢期では「家具転倒防止器具をつけたい」が最も多く、次いで「脱衣場やトイレに暖房を入れたい」、「浴室を使いやすくしたい」と続いている。
- 要介護認定者でも、「家具転倒防止器具をつけたい」「脱衣場やトイレに暖房を入れたい」と高齢者一般、これから高齢期と同様の傾向が続くが、次いで「玄関や室内の段差をなくしたい」があげられている。

■住まいで改修したいところ（複数回答）

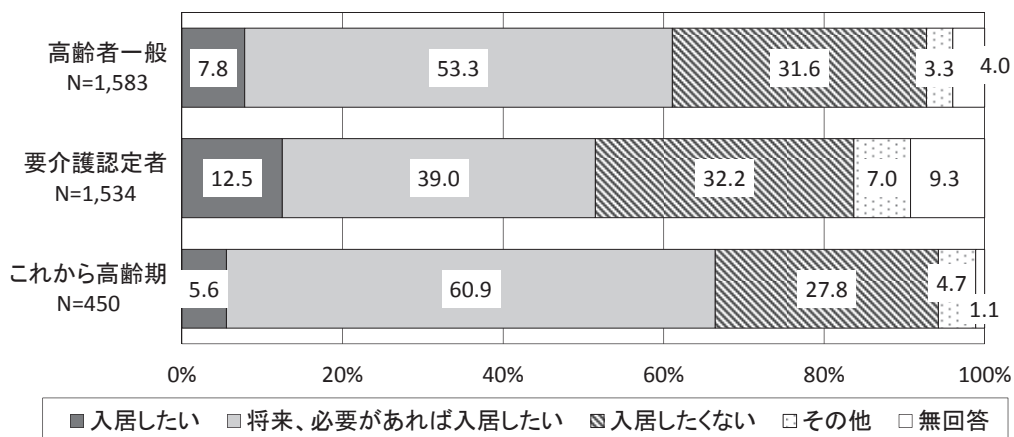


## (4) ケア付き住まい

### ① ケア付き住まいへの入居意向

- 「入居したい」と「将来、必要があれば入居したい」を合わせた“入居したい”人は、高齢者一般が61.1%、要介護認定者が51.5%、これから高齢期が66.5%となっている。
- いずれの調査においても、「入居したくない」が3割前後となっている。

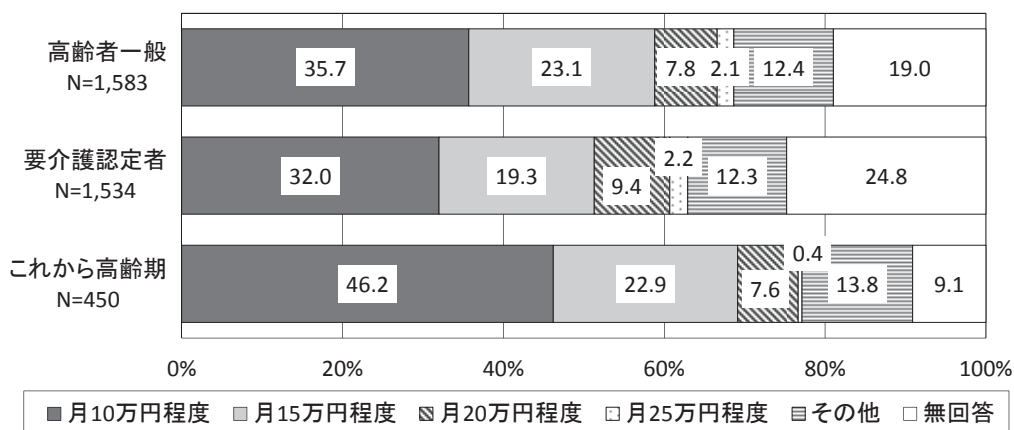
■ ケア付き住まいへの入居意向



### ② ケア付き住まいに入居する際の費用負担可能額

- ケア付き住まいに入居する場合に負担できる家賃・食事・光熱水費・サービス提供などの費用の合計額は、いずれの調査においても「月10万円程度」が最も多く、「月15万円程度」と回答した人も含めると、“月15万円以内”が高齢者一般で58.8%、要介護認定者で51.3%、これから高齢期で69.1%となっている。

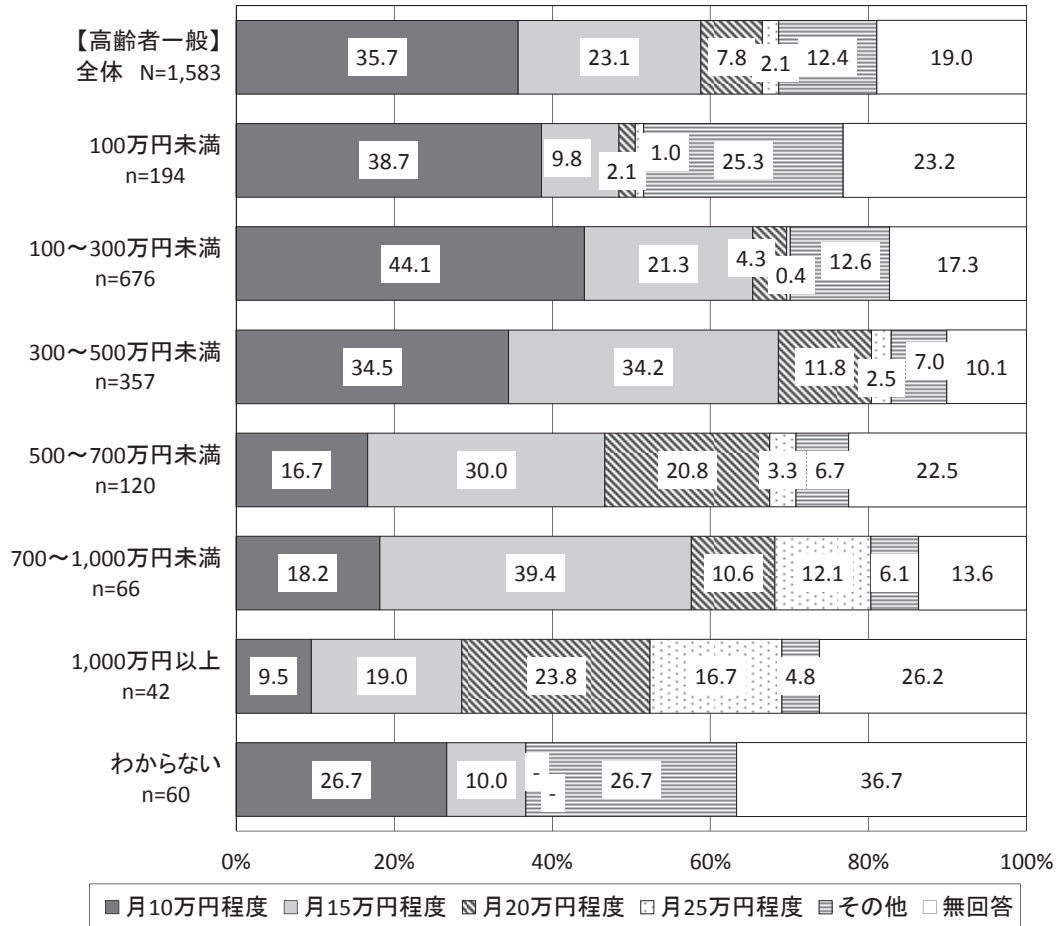
■ ケア付き住まいに入居する際の費用負担可能額



**【高齢者一般】**

○世帯年収別にみると、100万円未満と100～300万円未満では「月10万円程度」が多いが、300～500万円未満では「月10万円程度」と「月15万円程度」がほぼ同じ割合となり、以降、世帯年収が上がると負担可能額も高くなる。

**■ケア付き住まいに入居する際の費用負担可能額<高齢者一般：世帯年収別>**



## (5) 介護が必要になった場合の生活場所

- 高齢者一般、これから高齢期ともに「自宅で介護保険のサービスを利用しながら暮らしたい」が最も多く4割強で、「自宅で介護保険のサービスを利用しないで家族からの介護を中心に暮らしたい」と回答した人も含めると、在宅での生活を希望している人が5割前後を占めている。
- 「特別養護老人ホームなどの介護施設に入所したい」と回答した人は、高齢者一般で15.4%、これから高齢期で12.4%となっている。

